



北海道初となるランボルギーニの正規販売店が札幌にオープン、同社はここをさらに躍進していくための重要な拠点と位置付けている。

北海道初となるランボルギーニの拠点。

ランボルギーニ札幌のグランドオープンにはV12気筒エンジンを搭載したハイパフォーマンスEV、レヴェルトも北海道で初お披露目され、注目を集めた。

ランボルギーニの正規販売店は現在、麻布、芝、横浜、名古屋、大阪、神戸、広島、福岡、仙台の9拠点がある。ランボルギーニ福岡が一番西にある拠点であり、仙台が最北なのだが、新たに10番目のディーラーとしてランボルギーニ札幌（光洋自動車）がオープン、北海道エリア初のランボルギーニ正規販売店となった。

グランドオープニングセレモニーが開催された7月7日には、アウトモビリランボルギーニ アジアパシフィックのフランチェスコ・スカルダオーニ代表が来日、ランボルギーニジャパンのダビデ・スフレコラ代表も駆け付けた。さらにこのイベントには、新世代のフラッグシップ、レヴェルトも特別展示され、地元プレスや特別招待客に公開された。

光洋自動車の伊藤社長は「ランボルギーニファミリーになれたことを大変うれしく思います。正規ディーラーとしてランボルギーニを提供できることを楽しみにしておりました。北海道にはオーナーになりたいというお客様がたくさんいらっしゃいますので、より多くのお客様にランボルギーニに乗っていただけるよう、尽力します」と語った。

フランチェスコ氏とダビデ氏には、北海道初上陸の意気込みを聞いた。

フランチェスコ氏は「ランボルギーニは常に新しいマーケットで新しいポテンシャルを開拓しています。今回新しいパートナーとの新規拠点オープンにより、北海道のお客様に近いところでサー



ランボルギーニ札幌：北海道札幌市厚別区厚別中央二条1丁目3-15 / 電話：011-802-5422



306㎡のショールーム内には3台のランボルギーニを展示が可能、アドベルソナムスタジオも用意する。

ビスやポテンシャルを提供することができるようになりました。ランボルギーニの世界観やラグジュアリーなジャーニーを体験したり、アドベルソナムのスタジオでボディカラーやレザーの色を選んで自分だけの1台を作り上げることを楽しんでいただき、アフターセールス面もしっかりケアをさせていただきたいと思えます。北海道での需要も伸びていますので、今回はとても重要な一歩です」



ダビデ代表(左)、光洋自動車の伊藤誠英社長(中)、アジアパシフィックのフランチェスコ代表(右)。



敷地面積1464㎡(延べ床面積683㎡)にショールーム、ワークショップ、車両保管庫などを備える。

そしてダビデ氏は「ランボルギーニの人気は日本全国で高まっていますが、ウルクスの導入以来、それは北海道も同様です。北海道のみならずにもランボルギーニファミリーになっていただき、完璧なジャーニーを味わっていただきたいと思いい、ランボルギーニに相応しいサービスやエクスペリエンスを提供できる光洋自動車さんとパートナーとなり北海道に出店することになりました」と語った。